

## How to use mono.pro

Tromsø UHF CP2 data 用で、monostatic method により 3 次元イオン速度を計算する。  
それにくわえ、イオン温度も各サイクル毎 ( 6 分 4 ビーム ) に平均してファイルに出力する。

最初に mono.date を修正。

980921

\_100km\_100

2 行目は空行でもよいし、cp2 は必要ない。この場合はファイル名  
tr980921cp2e\_100km\_100.gdat3になる。ファイルのpathはプログラムの中で指定している。  
/EISCAT04/cp2data/tromso.

これで実行すればオーケー。

output files:

v980921cp2\_100km\_100.gdat3 <--- 3 次元 ion velocity: Long pulse

v980921cp2s\_100km\_100.gdat3 <--- 3 次元 ion velocity: Short pulse/Alternating code

ti980921cp2\_100km\_100.gdat3 <--- 各サイクル毎に平均を行った ion temperature.  
LongPulse

ti980921cp2s\_100km\_100.gdat3 <--- 各サイクル毎に平均を行った ion temperature.  
Short pulse/Alternating code

イオン温度は、**make\_as\_tmono.pro** より ASCII file に書き換えれる。さらに  
**cut\_as\_tmono.pro** で条件にあったものが切り出せる。

ESR data に関しては、**mono\_esr.pro** (with monoesr.date) を使用する。